

参考資料3 中小機構提出資料

- 平成30年度  
財務省東海財務局（主催）と（独）中小企業基盤整備機構中部本部（共催）が連携し、サービス産業の生産性向上に向けた勉強会（全3回）を実施。
- 第2回（10月31日）は、『中小企業におけるAI活用の現状と課題』をテーマに講演及びパネルディスカッションを実施。

東海財務局 中小機構

### サービス産業の生産性向上に向けた勉強会

## RPA(Robots Process Automation) 導入の現状と課題

サービス産業の生産性向上のための方策とは？  
このセミナーでは、サービス産業の事業者の皆様を対象として、事業承継税制や、RPA(Robots Process Automation)導入の現状と課題について、事例を交え解説します。経済産業省が実施するIT導入補助金もご紹介いたします。ぜひご参加ください。

※ RPA(Robots Process Automation)とは：経営技術（ルールエンジン・機械学習等）を活用した、業務の効率化・自動化の取り組みを指す。

開催日時  
平成30年6月14日(木) 14:30~16:20 (開場14:00)

会場  
東海財務局 2階大会議室 (名古屋市港区三の丸3-3-1)

対象・定員  
サービス産業を営む中小企業の経営者、後継者、経営幹部等 40名

主催・共催  
主催：財務省 東海財務局 共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部

プログラム

- 14:30~ 開会挨拶
- 14:35~ 事業承継税制の改正のポイント  
名古屋国税局 課税第一部長藤原 謙
- 15:05~ RPA導入の現状と課題  
中小機構中部 経営支援チームアドバイザー 道家 昭明
- 15:35~ RPA導入企業へのインタビュー  
西濃運輸株式会社 経営戦略部 経営戦略課長 満田 勝也 氏
- 16:05~ IT導入補助金（サービス等生産性向上IT導入支援事業）のご紹介  
中部経済産業局 流通・サービス産業課

参加無料

▼お申込みは、裏面をご覧ください。

東海財務局 中小機構

### サービス産業の生産性向上に向けた勉強会

## 中小企業におけるAI活用の現状と課題

サービス産業の生産性向上のための方策とは？  
このセミナーでは、サービス産業の事業者の皆様を対象として、大学発AIベンチャーの経営者やITの専門家を招き、AIの現状や将来像、中小企業におけるAIの活用について解説します。また、中小企業におけるAI活用の可能性について議論するパネルディスカッションも開催します。ぜひご参加ください。

開催日時  
平成30年10月31日(水) 14:30~16:30 (開場14:00)

会場  
KKRホテル名古屋 3階 蘭の間 (名古屋市中区三の丸1丁目5-1)

対象・定員  
サービス産業を営む中小企業の経営者、後継者、経営幹部等 40名

主催・共催  
主催：財務省 東海財務局 共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部

プログラム

- 14:30~ 開会挨拶
- 14:35~ 講演「ビジネスにおけるAI活用の現状と可能性」  
株式会社トライエッティング 代表取締役 CEO 長江祐樹氏
- 15:15~ 講演「中小企業におけるAI活用に向けて」  
中小機構中部 経営支援アドバイザー 稲谷 宏
- 15:40~ パネルディスカッション「中小企業におけるAI活用を考える」  
パネリスト：株式会社トライエッティング 代表取締役 CEO 長江祐樹氏  
中小機構中部 経営支援チームアドバイザー 道家 昭明  
ファシリテーター：  
中小機構中部 経営支援アドバイザー 稲谷 宏

参加無料

▼お申込みは、裏面をご覧ください。

東海財務局 中小機構

### サービス産業の生産性向上に向けた勉強会

## VR活用による生産性向上

サービス産業の生産性向上のための方策とは？  
このセミナーでは、サービス産業の事業者の皆様を対象として、VR (Virtual Reality) [バーチャル・リアリティ:仮想現実] を利用した事業を展開する企業経営者や知見のある専門家より、VR活用の現状やその可能性についてご紹介いただきます。VR体験や、VRをビジネスにおいてどう生かせるのかを語りあうトークセッションも開催！ぜひご参加ください。

開催概要

日時：平成31年3月7日(木) 14:00~16:45 (開場13:30)

場所：KKRホテル名古屋3階 芙蓉の間・蘭の間 (名古屋市中区三の丸1丁目5-1)

対象：サービス産業を営む中小企業の経営者、後継者、経営幹部等 40名

主催：財務省 東海財務局 共催：独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部

参加無料

プログラム

14:00~ 開会挨拶

14:05~ 講演「VRで事はこう変わる！VR最新事例」  
株式会社アイロック 代表取締役 古賀琢麻氏

14:40~ 講演&VR体験  
【芙蓉の間】講演「VR活用の最新動向と今後の展望」  
中小機構中部本部 経営支援チームアドバイザー 道家 昭明氏  
【蘭の間】VR体験「体験してわかる！VRの可能性」  
※アイロックのドライビングシミュレーター「TR」の体験体験ができます！  
体験時間はおひとり5分程度です。

16:20~ サマリー・Q&A「サービス産業のVR活用を考える」  
VRをビジネスに活用するポイントとは？  
道家アドバイザーが皆さまの疑問・質問にお答えします

講師紹介

古賀琢麻 (こが たくま) 氏

愛知県山田町出身。レーシングドライバー、株式会社アイロック代表取締役。  
2009年度「NASCARシリーズ (NASCAR National Division)」に日本人初のフルシーズン参戦。現在「NASCAR KAN PRO SERIES」に参戦中。2018年度は世界シリーズチャンピオンとなり、NASCARが主催するF17000名以上の観客を集めた大会でのアジア人としての初優勝を達成。チャンピオンドライバーとして活躍中。  
また、2004年に日本レーシングドライバーの参戦を行う株式会社アイロックを立ち上げ、VRドライビングシミュレーターを開発・提供。現在プロレーサーの参戦やゲージ位置出し、TR (SHALATOR) は、最新型マシン、最新型ドライバー(開発者)を招待し、大規模ドライバーロードショー、各種イベントなどで展開、好評を博している。

▼お申込みは、裏面をご覧ください。



## サービス産業の生産性向上に向けた勉強会（平成30年10月31日）

# 中小企業におけるA I 活用の現状と課題

## A I（人工知能）の現状・課題

### A I 技術の現状

- ・ これまでのA Iブームにおいて顕在化した諸問題（フレーム問題、シンボルグラウディング問題）を克服する技術（機械学習、ディープラーニング、スパースモデリングなど）の開発により、第3次A Iブームが到来
- ・ A Iを取り扱うベンダー会社も急激に増加し続けている

### A I の活用分野

- ・ A Iの活用は業種を問わず、在庫の適正管理、勤務シフトの自動作成、人財分析、価格分析など様々な分野で活用が可能

### A I 導入にあたっての課題

- ・ A Iに分析させるデータの収集に労力が必要
- ・ 企業側においてデータが持つ意味、活用方法について理解が不足
- ・ A Iベンダーのノウハウ・受注価格にも差があり、A I導入費用に関する相場は定まっていない

事業から得られるデータの重要性を認識するとともに  
信頼できるA Iベンダーを選定することが  
A I導入を成功に導くポイント

## A I 導入のための準備

### 事業課題の把握とA I 導入業務の洗い出し

- ・ 自社の事業課題について経営者が自ら把握し、他の役員、従業員の理解を得ることで、A I導入に向けた社内態勢を整える
- ・ A I活用サービスと自社で導入する際に必要なデータをリスト化のうえ、A I導入の優先業務を選定する

### より多くのデータを収集・蓄積

- ・ ありとあらゆるデータを早くから収集し蓄積することで、競合他社に対して優位な立場になる

### 収集すべきデータの種類

- ① デモグラフィック情報（顧客の性別・年齢・家族構成、商品の品番といった性質情報）
- ② ジオグラフィック情報（店舗等の立地情報）
- ③ ローカル情報（特売実施などのイベント情報）

## A I 導入で失敗しないためのポイント

- ① 導入企業において評価基準（K P I）を設定するとともに、A Iベンダーから相見積もりを取り、費用対効果を検証する
- ② A Iベンダーの選定にあたっては、導入予定企業の事業内容をヒアリングにより理解しようとする姿勢にも着目する
- ③ A I導入後のP D C Aに関するコストも見据えて取り組む
- ④ 収集データへのアノテーション作業については、選定したA Iベンダーの仕様に合わせて外部発注することも有用

（注）この成果物は、当該勉強会で出された意見を取りまとめたものであり、当局としての見解を表明したものではありません。